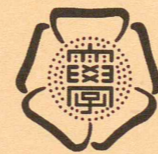
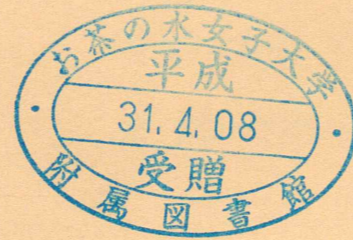


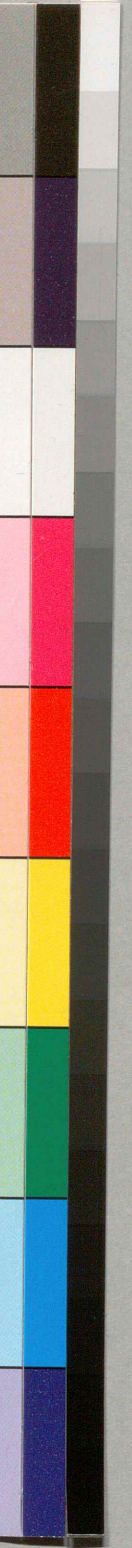
貴重書

教育職員免許法に関する  
説明及び科目認定一覧表

平成31年度生用



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University





# 目 次

I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科	1
1. 一種免許状	1
2. 専修免許状(参考)	2
II. 免許状取得の方法	3
1. 基礎資格および最低修得単位数	3
2. 教科・教職以外の科目	4
3. 幼稚園・小学校教諭一種免許状	5
(1) 教育の基礎的理解に関する科目等	5
(2) 【幼稚園】領域及び保育内容の指導法に関する科目	6
(3) 【小学校】教科及び教科の指導法に関する科目	7
(4) 【幼稚園・小学校】大学が独自に設定する科目	7
4. 中学校・高等学校教諭一種免許状	8
(1) 教育の基礎的理解に関する科目等	8
(2) 教科の指導法に関する科目	10
(3) 大学が独自に設定する科目	10
(4) 教科に関する専門的事項	11
5. 栄養教諭一種免許状	28
III. 介護等体験	29
IV. 教員免許状の授与	30
1. 大学一括申請	30
2. 個人申請	30
V. 教職課程履修スケジュール	31



## I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科

本学では、別表のとおり全ての学部で教員免許状が取得できるようになっており、それぞれの学科で学んだ専門科目を最も生かすことのできる免許状を取得できるようになっています。教員免許状取得を希望する学生は、必ず所属学科の免許状を取得してください。

### 1. 一種免許状

学部	学 科	免 許 状 の 種 類 及 び 教 科			
		中学校一種	高等学校一種	その他の免許状の種類	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民		
	言 語 文 化 学 科	国 語	国 語		
		中 国 語	中 国 語		
学 部	人 間 社 会 科 学 科	社 会	公 民	幼 稚 園 一 種	小 学 校 一 種
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	保 健 体 育	保 健 体 育		
		音 楽	音 楽		
理 学 部	数 学 科	数 学	数 学		
	物 理 学 科	理 科	理 科		
	化 学 科	理 科	理 科		
	生 物 学 科	理 科	理 科		
部	情 報 科 学 科	数 学	数 学		
			情 報		
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科			栄 養 教 諭 一 種	
	人 間 生 活 学 科	家 庭	家 庭		

★文教育学部所属で、グローバル文化学プログラムを主プログラムとして選択する学生は、教員免許を取得できないため、注意すること。

★人間社会科学科で小学校・中学校の教員免許取得を両方希望する場合は、必ず学務課に相談すること。



2. 専修免許状（参考）

本学大学院では別表のとおり、専修免許状が取得できます。大学院で専修免許状の取得を希望する学生は、学部卒業時に一種免許状を取得しておく必要があります。

研究科	専攻	免許状の種類及び教科		
		中学校専修	高等学校専修	その他の免許状の種類
人間文化創成科学研究科	比較社会文化学専攻	国語	国語	
		中国語	中国語	
		英語	英語	
		社会	地理歴史	
		保健体育	保健体育	
		音楽	音楽	
		家庭	家庭	
人間発達科学研究科	人間発達科学専攻	教育職員免許法第4条第5項第1号に掲げる全ての教科（外国語は英語、中国語、フランス語に限る）	教育職員免許法第4条第5項第2号に掲げる全ての教科（外国語は英語、中国語、フランス語に限る）	幼稚園専修 小学校専修
		社会	地理歴史	
博士前期課程	ジェンダー社会科学専攻		公民	
		家庭	家庭	
		家庭	家庭	
博士前期課程	ライフサイエンス専攻	理科	理科	
		理科	理科	
		数学	数学	
博士前期課程	理学専攻		情報	
		数学	数学	
博士前期課程	生活工学共同専攻	家庭	家庭	
		家庭	家庭	

II. 免許状取得の方法

1. 基礎資格および最低修得単位数

本学で教員免許状を取得するためには、下記の条件を全て満たす必要があります。

- 卒業・修了に必要な単位を修得して基礎資格を得る。
- 下記の「教育職員免許法に定められた単位数」を修得する。
- 本学で定められた必修科目を全て修得する。
- P. 4「教科・教職以外の科目」を全て修得する。
- （小学校・中学校の教員免許状取得の場合のみ）7日間の介護等体験を行う。

教育職員免許状の種類	基礎資格	教育職員免許法に定められた単位数						介護等体験	
		教科及び教科の指導法に関する科目 (幼稚園教諭)領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	合計単位数		
教幼稚園論	専修	修士の学位を有すること。	16	10	4	7	38	75	不要
	一種	学士の学位を有すること。	16	10	4	7	14	51	不要
教小学校論	専修	修士の学位を有すること。	30	10	10	7	26	83	*
	一種	学士の学位を有すること。	30	10	10	7	2	59	必要
教中学校論	専修	修士の学位を有すること。	28	10	10	7	28	83	*
	一種	学士の学位を有すること。	28	10	10	7	4	59	必要
教高等学校論	専修	修士の学位を有すること。	24	10	8	5	36	83	不要
	一種	学士の学位を有すること。	24	10	8	5	12	59	不要
栄養教諭	一種	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。	栄養教諭については、P. 28を参照すること。						不要

注) 介護等体験の「\*」は、既に小学校又は中学校の免許状を取得している者（取得要件を満たしている者を含む。）は不要。(P. 29「III. 介護等体験」を参照すること)



## 2. 教科・教職以外の科目

教育職員免許法では、教員免許状の取得には、前頁に定める教職関係の科目以外に、本学で開講されている日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の単位修得が必要であると定められています。これらに該当する科目は以下のとおりですので、免許状取得希望者は忘れずに履修してください。

・日本国憲法（2単位）【コア科目・基礎講義】			
〔全学部〕	「法学Ⅰ（日本国憲法）」	2単位	必修
・体育（2単位）【コア科目・スポーツ健康】			
〔全学部〕	「スポーツ健康実習」	2単位	必修
・外国語コミュニケーション（4単位）【コア科目・外国語】			
〔全学部〕 いずれかの言語において4単位修得すること。			
	「中級英語Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「中級英語Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎ドイツ語Ⅲ」	} 各2単位	計4単位
	「基礎ドイツ語Ⅳ」		
	「基礎フランス語Ⅲ」	} 各2単位	計4単位
	「基礎フランス語Ⅳ」		
	「基礎中国語Ⅲ」	} 各2単位	計4単位
	「基礎中国語Ⅳ」		
※理学部情報科学科に限り、上記の他に下記科目からの選択も可とする。			
	「基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「ドイツ語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「ドイツ語初歩Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎フランス語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「基礎フランス語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「フランス語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「フランス語初歩Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎中国語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「基礎中国語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「中国語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位	計4単位
	「中国語初歩Ⅱ(1)(2)」		
・情報機器の操作（2単位）【コア科目・情報】			
〔全学部〕	「情報処理演習(1)(2)」	計2単位	必修
	「情報処理学(1)(2)」	計2単位	選択

但し、留学生特別科目の単位振替による充足は認められない。

## 3. 幼稚園・小学校教諭一種免許状

### (1) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育の基礎的理解に関する科目等	左記各科目に含めることが必要な事項	免許状の種類及び認定科目・単位				
		幼稚園教諭		小学校教諭		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	幼児教育学原論(1)(2) ※教育思想概論(1)(2) ※教育史概論(1)(2)	各1 各1 各1	16	教育思想概論(1)(2) 教育史概論(1)(2)	各1 各1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論(1)(2)	各1	16	教職概論(1)(2)	各1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	子ども社会学概論(1)(2) 幼児教育制度概論(1)(2) ※教育制度概論 ※教育社会学概論(1)(2) 教育・発達心理学概論(1)(2)	各1 各1 2 各1 各1	16	教育制度概論 教育社会学概論(1)(2) 教育・発達心理学概論(1)(2)	2 各1 各1
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	16	特別支援教育概論	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	幼児教育課程概論 ※教育課程概論(1)(2)	2 各1	16	教育課程概論(1)(2)	各1
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法			11	道徳教育の理論と方法
総合的な学習の時間の指導法				総合的な学習の時間の理論と方法		1
特別活動の指導法				特別活動の理論と方法		2
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				教育方法学概論(1)(2)		各1
生徒指導の理論及び方法				生徒指導と進路指導の理論と方法		2
進路指導の理論及び方法				学校カウンセリング		2
教育実践に関する科目	教育実践	5	5	事前・事後指導（幼小）	1	
	教育実習	4	4	教育実習（幼小）	4	
	教職実践演習	2	2	教職実践演習（幼小中高）	2	
合計	25	25	34			

※は幼稚園教諭にあつては、選択科目。



注) 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得はできないので、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。

(2) 【幼稚園】領域及び保育内容の指導法に関する科目

下記科目全て履修し、19単位を必ず修得する必要がある。

科目区分等		授業科目	単位数
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康 1
		人間関係	子どもと人間関係 1
		環境	子どもと環境 1
		言葉	子どもと言葉 1
		表現	子どもと表現 1
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容指導法(健康)	2
		保育内容指導法(人間関係)	2
		保育内容指導法(環境)	2
		保育内容指導法(言葉)	2
		保育内容指導法(表現Ⅰ)	2
		保育内容指導法(表現Ⅱ)	2
		保育内容総論(子どもと遊び) (1)	1
	保育内容総論(子どもと遊び) (2)	1	
合 計			19

◎ 「保育内容の指導法」の単位のうち、❖のついている科目については、下記のとおり小学校教諭一種免許状の授与を受ける場合の「教科の指導法」の単位を充てることが出来る。

但し、小学校教諭一種免許状を取得した場合(取得見込含む)に限る。

- 初等科教育法(音楽) → 保育内容指導法(表現Ⅱ)
- 初等科教育法(図画工作) → 保育内容指導法(表現Ⅰ)
- 初等科教育法(体育) → 保育内容指導法(健康)

(3) 【小学校】教科及び教科の指導法に関する科目

下記科目全て履修し、31単位を必ず修得する必要がある。

科目区分等		授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	国語科教育論	1	
	社会	社会科教育論	1	
	算数	算数科教育論	1	
	理科	理科教育論	1	
	生活	生活科教育論	1	
	音楽	教職音楽実技Ⅰ	1	
		教職音楽実技Ⅱ	1	
	図画工作	図画工作科教育論	1	
	家庭	家庭科教育論	1	
	体育	体育実技	1	
	外国語	外国語科教育論	1	
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	国語(書写を含む。)	初等科教育法(国語)	2
		社会	初等科教育法(社会)	2
算数		初等科教育法(算数)	2	
理科		初等科教育法(理科)	2	
生活		初等科教育法(生活)	2	
音楽		初等科教育法(音楽)	2	
図画工作		初等科教育法(図画工作)	2	
家庭		初等科教育法(家庭)	2	
体育		初等科教育法(体育)	2	
外国語		初等科教育法(外国語)	2	
合 計			31	

(4) 【幼稚園・小学校】大学が独自に設定する科目

以下の科目が該当する。

- ・「学校インターンシップ」(2単位) \* 小学校免許取得者は必修
- ・「子ども学総論」(2単位)、「子ども学フィールドワーク」(2単位)、「子ども学インターンシップ」(2単位) ※但し、幼稚園の免許のみ該当
- ・P. 3に記載された法令が定めている単位数を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」/「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」



#### 4. 中学校・高等学校教諭一種免許状

##### (1) 教育の基礎的理解に関する科目等

◎文教育学部 人文科学科、言語文化学科、芸術・表現行動学科

◎理学部 数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科

◎生活科学部 人間生活学科

教育の基礎的理解に関する科目等 左記各科目に含めることが必要な事項	免許状の種類及び認定科目・単位				
	中学校教諭		高等学校教諭		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論(思想・歴史)(1)(2)	各1	教育原論(思想・歴史)(1)(2)	各1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論(中等)(1)(2)	各1	教職概論(中等)(1)(2)	各1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育原論(社会・制度)(1)(2)	各1	教育原論(社会・制度)(1)(2)	各1
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理	2	教育心理	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理論と方法	1	特別支援教育の理論と方法	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	教育課程論	2
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法(中等)	2	
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の理論と方法(中等)	1	総合的な学習の時間の理論と方法(中等)	1
特別活動の指導法		特別活動の理論と方法(中等)	2	特別活動の理論と方法(中等)	2
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論	2	教育方法論	2
生徒指導の理論及び方法		生徒指導と進路指導の理論と方法(中等)	2	生徒指導と進路指導の理論と方法(中等)	2
進路指導の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		学校カウンセリング(中等)	2	学校カウンセリング(中等)	2
教育実践に関する科目	教育実習	5単位	事前・事後指導(中等) 1 教育実習(中等) 4	3単位	事前・事後指導(中等) 1 教育実習(中等) 2
	教職実践演習	2単位	教職実践演習(中等)	2単位	教職実践演習(中等)
合計		29単位		25単位	

注) 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得はできないので、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。

#### ◎文教育学部 人間社会科学科

教育の基礎的理解に関する科目等 左記各科目に含めることが必要な事項	免許状の種類及び認定科目・単位				
	中学校教諭		高等学校教諭		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育思想概論(1)(2)	各1	教育思想概論(1)(2)	各1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教育史概論(1)(2)	各1	教育史概論(1)(2)	各1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教職概論(1)(2)	各1	教職概論(1)(2)	各1
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育制度概論	2	教育制度概論	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育社会学概論(1)(2)	各1	教育社会学概論(1)(2)	各1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育・発達心理学概論(1)(2)	各1	教育・発達心理学概論(1)(2)	各1
		特別支援教育概論	2	特別支援教育概論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の理論と方法	1	総合的な学習の時間の理論と方法	1
	特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	2	特別活動の理論と方法	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法学概論(1)(2)	各1	教育方法学概論(1)(2)	各1
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導の理論と方法	2	生徒指導と進路指導の理論と方法	2
	進路指導の理論及び方法				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校カウンセリング	2	学校カウンセリング	2
教育実践に関する科目	教育実習	5単位	事前・事後指導(中高) 1 教育実習(中高) 4	3単位	事前・事後指導(中高) 1 教育実習(中高) 2
	教職実践演習	2単位	教職実践演習(幼小中高)	2単位	教職実践演習(幼小中高)
合計		34単位		30単位	

注) 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得はできないので、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。



(2) 教科の指導法に関する科目

各教科教育法の内訳は以下のとおりで、各教科毎に各々ⅠⅡⅢⅣ（各2単位）の4科目8単位を第3年次終了までに修得していなければ、教育実習（事前・事後指導を含む）を履修できないので、注意すること（但し、情報のみ2科目4単位必修とする）。なお、高等学校の地理歴史は「中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）」と「中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）」、公民は「中等社会科教育法Ⅱ（公民）」と「中等社会科教育法Ⅳ（公民）」修得（4単位）が、教育実習履修要件となる。

教科	修得すべき科目（必修8単位）
社会	中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）*1、中等社会科教育法Ⅱ（公民）、中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）、中等社会科教育法Ⅳ（公民）
地理歴史	中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）*1、中等社会科教育法Ⅲ（地理歴史）
公民	中等社会科教育法Ⅱ（公民）、中等社会科教育法Ⅳ（公民）
国語	国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、国語科教育法Ⅲ、国語科教育法Ⅳ
中国語	中国語科教育法Ⅰ、中国語科教育法Ⅱ、中国語科教育法Ⅲ、中国語科教育法Ⅳ
英語	英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ
保健体育	保健体育科教育法Ⅰ、保健体育科教育法Ⅱ、保健体育科教育法Ⅲ、保健体育科教育法Ⅳ
音楽	音楽科教育法Ⅰ、音楽科教育法Ⅱ、音楽科教育法Ⅲ、音楽科教育法Ⅳ
数学	数学科教育法Ⅰ、数学科教育法Ⅱ、数学科教育法Ⅲ、数学科教育法Ⅳ
理科	理科教育法Ⅰ、理科教育法Ⅱ、理科教育法Ⅲ、理科教育法Ⅳ
情報	情報科教育法Ⅰ*2、情報科教育法Ⅱ*2 ※情報のみ、上記2科目4単位を必修とする。
家庭	家庭科教育法Ⅰ、家庭科教育法Ⅱ、家庭科教育法Ⅲ、家庭科教育法Ⅳ

※1 中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）のみ、2年次後期に開講する。  
 ※2 情報科教育法は、ⅠとⅡを隔年で交互に開講するので、2年次と3年次に修得すること。

(3) 大学が独自に設定する科目

以下の科目が該当する。

- ・「学校インターンシップ」（2単位）
- ・「道徳教育の理論と方法（中等）」（2単位、人間社会科学科を除く）、「道徳教育の理論と方法」（2単位、人間社会科学科）※但し、いずれも高等学校の免許のみ該当
- ・P.3に記載された法令が定めている単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校教諭一種免許状 免許教科 社会

人文科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	備考
社会（必修20単位以上、大学が独自に設置する科目4単位以上）	◎日本史概説② ◎日本文化史概論② ◎アジア史概説② ◎西洋史概説② 日本古代中世政治史 ② 日本中世史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本近世近代政治史 ② 日本近世史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 東アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) グローバル・ヒストリー ② 日本古代中世文化史 ② 日本近世史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) フランス史 ② 美術史学演習Ⅰ・Ⅲ(各4) 日本近世近代文化史 ② 日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) イギリス史 ② 形象分析学演習Ⅰ・Ⅲ(各4) 日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史学文献講読Ⅰ・Ⅱ(各2) 美術史学特殊講義Ⅰ・Ⅲ(各4) 日本古代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 古文書学 ② 西洋社会史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 形象分析学特殊講義Ⅰ・Ⅲ(各4) 日本中世史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史学科学 ② 西洋政治史演習Ⅰ・Ⅱ(各2)	
地理学（地誌を含む。）	◎都市と自然② ◎自然と人間② ◎地誌学② 地図学 ② 地理学フィールドワークA ② 環境地理学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 地理学英書講読 ② 社会地理学 ② 人文地理学分析基礎演習 ④ 地域分析学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 人間と空間 ② 自然地理学 ② 環境地理学基礎演習 ④ 社会地理学演習 ② 都市・福祉地理学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 測量学 ② 地理学フィールドワーク演習 ② 自然地理学演習Ⅰ ②	
「法律学、政治学」	法学総論Ⅰ・Ⅱ(各2) 政治学総論Ⅰ・Ⅱ(各2) いずれかの総論を選択（選択した総論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること）	「人間社会科学科科目」
「社会学、経済学」	社会学通論Ⅰ・Ⅱ(各2) 経済学通論Ⅰ・Ⅱ(各2) いずれかの通論を選択（選択した通論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること） 経済地理学② 都市地理学②	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理学概論Ⅰ・Ⅱ(各2) いずれかの概論を選択（選択した概論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること） 哲学演習AⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理学演習A ④ 西洋倫理思想史研究 ② 哲学演習BⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理学資料講読 ④ 倫理学研究 ②	

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 地理歴史

人文科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位		備考
地理歴史 (必修) 単位以上・大学が独自に設置する科目(単位以上)	日本史	◎日本史概説(2) ◎日本文化史概説(2) 日本古代中世政治史(2) 日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本近世史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 古文書学(2) 日本近世近代政治史(2) 日本古代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本近世史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史史科学(2) 日本古代中世文化史(2) 日本中世史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本近代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 形象分析学演習Ⅰ・Ⅲ(各4) 日本近世近代文化史(2) 日本中世史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 形象分析学特殊講義Ⅰ・Ⅲ(各4)	
	外国史	◎アジア史概説(2) ◎西洋史概説(2) 西アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史学文献講義Ⅰ・Ⅱ(各2) グローバル・ヒストリー(2) 東アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 美術史学演習Ⅰ・Ⅲ(各4) フランス史(2) 西洋政治史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 美術史学特殊講義Ⅰ・Ⅲ(各4) イギリス史(2) 西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ(各2)	
	人文地理学・自然地理学	◎都市と自然(2) ◎自然と人間(2) 地 図 学(2) 地理学フィールドワークA(2) 環境地理学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 地理学英書講読(2) 社 会 地 理 学(2) 人文地理学分析基礎演習(4) 地域分析学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 人間と空間(2) 自 然 地 理 学(2) 環境地理学基礎演習(4) 社会地理学演習(2) 都市・福祉地理学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 測 量 学(2) 地理学フィールドワーク演習(2) 自然地理学演習Ⅰ(2)	
	地 誌	◎地 誌 学(2)	

◎は本学の教職必修科目

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 公民

人文科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位		備考
公民(必修) 単位以上・大学が独自に設置する科目(単位以上)	「法律学 (国際法を含む。)、 政治学 (国際政治を含む。)」	◎法 学 総 論 Ⅰ(2) ◎法 学 総 論 Ⅱ(2) ◎政 治 学 総 論 Ⅰ(2) ◎政 治 学 総 論 Ⅱ(2)	人間社会 科学科目
	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	◎社会学通論Ⅰ(2) ◎社会学通論Ⅱ(2) ◎経済学通論Ⅰ(2) ◎経済学通論Ⅱ(2) 経 済 地 理 学(2) 都 市 地 理 学(2)	
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	◎哲学概論Ⅰ(2) ◎哲学概論Ⅱ(2) ◎倫理学概論Ⅰ(2) ◎倫理学概論Ⅱ(2) 哲学演習AⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理学資料講読(4) 哲学演習BⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 西洋倫理思想史研究(2) 倫理学演習A(4) 倫理学研究(2)	

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 国語

言語文化学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する専門的事項		
国語 (必修) (○単位以上・大学が独自に設置する科目 中学四・高校十二単位以上)	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	◎日本語学通論 (2) ◎日本語音声表現論 (2) ◎日本語彙論 (2) ◎日本語文法総論 (2) ----- 日本語文章表現論 (2) 日本語史特殊研究 (2) 日本語学演習(日本語史)Ⅰ (2) 日本語学演習(日本語史)Ⅱ (2) 日本語学演習(近・現代語)Ⅰ (2) 日本語学演習(近・現代語)Ⅱ (2)	
	国文学 (国文学史を含む。)	◎日本文学概説 (2) 日本古典文学史論(中古) (2) 日本古典文学史論(中世) (2) } [中古、中世、近世の中から2科目以上選択すること] 日本古典文学史論(近世) (2) 日本近代文学史論(近代) (2) 日本近代文学史論(現代) (2) } [近世、近代の中から1科目以上選択すること] ----- 日本古典文学論特殊研究(中古) (2) 日本古典文学論特殊研究(中世) (2) 日本古典文学論特殊研究(近世) (2) 日本近代文学論特殊研究(近代) (2) 日本近代文学論特殊研究(現代) (2) 日本古典文学論特殊講義Ⅰ・Ⅲ (各2) 日本近代文学論特殊講義Ⅰ (2) 日本文学論講読Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ (各2) 日本古典文学論演習(中古)Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本古典文学論演習(中世)Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本古典文学論演習(近世)Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本近代文学論演習(近代)Ⅰ・Ⅱ (各2) 日本近代文学論演習(現代)Ⅰ・Ⅱ (各2)	
	漢文学	◎中国古典文学史(先秦～唐) (2) ◎中国古典文学史(宋～清) (2) 中国古典文献講読入門 (2) 中国古典文献講読基礎 (2) } いずれか1科目以上選択 ----- 中国文学古典演習 (2) 中国語学文献講読 (2)	
	(中)書道 (書写を中心とする。)	◎書道Ⅰ (2) ◎書道Ⅱ (2) ※高等学校教諭免許では、所要単位に含まれない	

◎は本学の教職必修科目

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 中国語

言語文化学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する専門的事項		
中国語 (必修) (○単位以上・大学が独自に設置する科目 中学四・高校十二単位以上)	中国語学	◎中国語学概論 (2) ◎中国語講読 (2) ◎日中対照言語学 (2) ----- 中国語統語論 (2) 中国語文法論 (2)	
	中国文学	◎中国現代文学史 (2) ◎中国文学古典講読 (2) ----- 中国現代作家論 (2) 中国現代作品論 (2) 中国古典詩講義演習 (2)	
	中国語 コミュニケーション	◎中国語作文基礎演習 (2) ◎中国語作文応用演習 (2) ◎中国語コミュニケーション・スキル (2) ◎中国語ヒアリング基礎 (2) ----- 中国語ヒアリング演習 (2) 中国語会話演習 (2)	
	異文化理解	◎中国事情 (2) ----- 中国文化論 (2)	

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 英語

言語文化学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する専門的事項			
英語 (必修) ○単位以上・大学が独自に設置する科目 中学四・高校十二単位以上	英語学	◎英文法Ⅰ(1/2) (各1)	-----	
		◎英文法Ⅱ (2)		
		◎英語学入門(1/2) (各1)		
		◎英語音声学演習 (2)		
		英文法演習 (2)		
		英語学概論 (2)		
		英語学特殊講義Ⅰ～Ⅷ (各2)		
	英語文学	英文学史Ⅰ(1/2) (各1)	「英文学史Ⅰ(1/2)」、「英文学史Ⅱ」、「米文学史Ⅰ(1/2)」、「米文学史Ⅱ」のうちから3科目6単位以上を選択必修	
		英文学史Ⅱ (2)		
		米文学史Ⅰ(1/2) (各1)		
		米文学史Ⅱ (2)		
		英米文学演習(初級) (2)		
		英米文学演習(中級) (2)		
		英文学特殊講義Ⅰ～Ⅷ (各2)		
	英語 コミュニケーション	◎英作文演習(初級) (2)	} いずれか1科目以上選択	
		◎英会話演習(初級) (2)		
		英作文演習(中級) (2)		
		英会話演習(中級) (2)		
		英作文演習(上級) (2)		
		英会話演習(上級) (2)		
		対照表現学演習Ⅰ(1/2) (各1)		
	異文化理解	◎英語圏事情(1/2) (各1)	-----	

◎は本学の教職必修科目

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校教諭一種免許状 免許教科 社会

人間社会科学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する専門的事項			
社会 (必修) ○単位以上・大学が独自に設置する科目 四単位以上	日本史・外国史	◎日本史概説 (2)	◎アジア史概説 (2)	} 人文科学 科科目
		◎日本文化史概論 (2)	◎西洋史概説 (2)	
		教育史演習Ⅰ (2)	教育史演習Ⅱ (2)	
	地理学 (地誌を含む。)	◎都市と自然 (2)	◎地誌学 (2)	} 人文科学 科科目
		◎自然と人間 (2)		
	「法学、政治学」	◎法学総論Ⅰ (2)	◎政治学総論Ⅰ (2)	
		◎法学総論Ⅱ (2)	◎政治学総論Ⅱ (2)	
		教育制度演習Ⅰ (2)	教育制度演習Ⅱ (2)	
	「社会学、経済学」	◎社会学総論 (2)	◎経済学総論Ⅱ (2)	
		◎経済学総論Ⅰ (2)		
教育社会学演習Ⅰ (2)		社会意識論 (2)		
教育社会学演習Ⅱ (2)		文化人類学概論(1/2) (各1)		
社会政策論Ⅰ (2)		子ども社会学演習Ⅰ (2)		
「哲学、倫理学、 宗教学」	◎哲学総論 (2)			
	◎倫理学総論 (2)			
	教育思想演習Ⅰ (2)	教育人間学演習Ⅰ (2)		
	教育思想演習Ⅱ (2)	教育人間学演習Ⅱ (2)		

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 公民

人間社会科学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する専門的事項			
公民 (必修二〇単位以上・大学が独自に設置する科目十二単位以上)	「法律学 (国際法を含む。)、 政治学 (国際政治を含む。)」	◎法学総論Ⅰ (2) ◎法学総論Ⅱ (2) ----- 教育制度演習Ⅰ (2)	◎政治学総論Ⅰ (2) ◎政治学総論Ⅱ (2) ----- 教育制度演習Ⅱ (2)	
	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	◎社会学総論 (2) ◎経済学総論Ⅰ (2) ----- 教育社会学演習Ⅰ (2) 教育社会学演習Ⅱ (2) 社会政策論Ⅰ (2) 現代社会論 (2) 社会意識論 (2)	◎経済学総論Ⅱ (2) ----- 文化人類学概論(1)(2) (各1) 子ども社会学演習Ⅰ (2) 子ども社会学演習Ⅱ (2)	
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	◎哲学総論 (2) ◎倫理学総論 (2) ----- 教育思想演習Ⅰ (2) 教育思想演習Ⅱ (2)	教育人間学演習Ⅰ (2) 教育人間学演習Ⅱ (2)	

◎は本学の教職必修科目

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 保健体育

芸術・表現行動学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する専門的事項			
保健体育 (必修二〇単位以上・大学が独自に設置する科目中学四・高校十二単位以上)	体育実技	◎器械体操 (1) ◎球技 (1) ◎体づくり運動・武道 (1) ◎水泳実習 (1) ◎舞踊教育法実習 (中等教育) (1) ◎モダンダンス・テクニック (初級) (1) ◎舞踊創作法実習 (即興創作) (1) ◎舞踊創作法実習 (舞踊構成法) (1) ◎民族舞踊実習 (基礎) (1) ◎陸上競技 (1) ----- 舞踊創作法実習 (舞踊上演・制作) (2)		
	「体育原理、体育心理学、 体育経営管理学、体育社会学、 体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	◎体育原理 (2) ◎舞踊芸術学 (2) ◎民族舞踊学(1)(2) (各1) ◎臨床舞踊論 (2) ◎運動学 (運動方法学を含む) (2) ----- 体育心理学 (2) スポーツ文化論演習(1)(2) (各1)		
	生理学 (運動生理学を含む。)	◎生理学 (運動生理学を含む) (2) ◎動作学(1)(2) (各1) ----- 解剖学 (2) 病理学 (2) 動作学実験演習(1)(2) (各1)		
	衛生学・公衆衛生学	◎衛生学及び公衆衛生学 (2)		
	学校保健 (小児保健、精神保健、 学校安全及び救急処置を含む。)	◎学校保健 (2) ◎学校安全と救急看護 (2)		

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 文教育学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 音楽

芸術・表現行動学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位		備考
ソルフェージュ	◎ソルフェージュ (2)		
声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	◎声乐基礎 (4)		
	◎合唱演習 I (2)		
	合唱演習 II (2)		
	声乐発展 A (4)	声乐発展 B (4) 声乐発展 C (4)	
	副科声乐 A (2)	副科声乐 B (2) 副科声乐 C (2)	
	声乐特別演習 (4)		
	オペラ研究 A I (2)	オペラ研究 A II (2)	
オペラ研究 A III (2)		オペラ研究 A IV (2)	
器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	◎合奏演習 (2)		
	◎ピアノ基礎 (4)		
	◎日本音楽演奏法 (2)		
	ピアノ I (4)	ピアノ II (4) ピアノ III (4) ピアノ IV (4)	
	副科ピアノ A (2)	副科ピアノ B (2) 副科ピアノ C (2)	
	ピアノ特別演習 A I (2)	ピアノ特別演習 A II (2)	
	ピアノ特別演習 B I (2)	ピアノ特別演習 B II (2)	
	ピアノ特別演習 C I (2)	ピアノ特別演習 C II (2)	
	ピアノ研究演習 A I (2)	ピアノ研究演習 A II (2)	
	指揮法	◎指揮法 (2)	
◎作曲原論 I (2)		◎音楽学研究法 (2)	
◎作曲原論 II (2)		◎西洋音楽史 II (2)	
◎西洋音楽史 I (2)		◎民族音楽学 (2)	
◎日本音楽史概論 (2)		◎音楽形式論 (2)	
西洋音楽史特殊講義 I (2)		アジア音楽論 I (2)	
音楽学研究演習 (4)		アジア音楽論 II (2)	

◎は本学の教職必修科目

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 理学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 数学

数 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
数 学	代数学	◎初等代数学 (2) ◎群論 1 (2) ◎集合論 1 (1) ◎群論 2 (2) ◎集合論 2 (1)
	幾何学	◎線形代数学 5 (2) ◎位相空間論 2 (2) ◎線形代数学 6 (2) ◎ベクトル解析 (2) ◎位相空間論 1 (2)
解析学	◎微分積分学 3 (2) ◎微分積分学 6 (2) ◎微分積分学 4 (2) ◎数理解析序論 (2) ◎微分積分学 5 (2)	
	「確率論、統計学」	◎確率序論 (2) (情報科学科開設科目)
	コンピュータ	コンピュータシステム序論 (2) (情報科学科開設科目) 計算基礎論 (2) ( " ) } いずれか1科目以上選択

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

物 理 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	
免許教科	教科に関する専門的事項	
理科 (必修) ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目	物理学	◎古典力学Ⅰ(1)(2) (各1) ◎電磁気学Ⅱ(1)(2) (各1)
		◎量子力学Ⅰ(1)(2) (各1) ◎物理数学Ⅰ(1)(2) (各1)
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎量子力学Ⅱ(1)(2) (各1) ◎物理数学Ⅱ(1)(2) (各1)
		◎熱力学Ⅰ(1)(2) (各1)
	化学	◎電磁気学Ⅰ(1)(2) (各1)
		量子力学Ⅲ(1)(2) (各1) 統計力学Ⅰ(1)(2) (各1)
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎基礎物理学実験Ⅰ(1)(2) (各1)
		◎物理学実験Ⅰ(1)(2)(3)(4) (各1)
化学	◎化学概論A (2)	
	◎化学概論B (2) 生物学科科目	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎化学基礎実験 (2) (化学学科科目)	
生物学	◎生物学概論A (2)	
	◎生物学概論B (2) 化学学科科目	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎生物学基礎実験 (2) (生物学科科目)	
地学	◎宇宙・地球科学 (2)	
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎地学基礎実験 (2)	

◎は本学の教職必修科目

・実験の履修方法

- 【中学校】 物理学、化学、生物学、地学の全ての実験を履修すること。
- 【高等学校】 物理学実験を履修すること。

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

化 学 科

科目区分	本学認定授業科目及び単位		
免許教科	教科に関する専門的事項		
理科 (必修) ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目 ○単位以上・大学が独自に設置する科目	物理学	◎物理学概論A (2)	
		◎物理学概論B (2) 物理学科科目	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎物理学基礎実験 (2) (物理学科科目)	
	化学	◎物理化学Ⅰ (2)	◎有機化学Ⅱ (2)
		◎物理化学Ⅱ (2)	◎有機化学Ⅲ (2)
		◎物理化学Ⅲ (2)	◎生物化学Ⅰ(1)(2) (各1)
		◎物理化学Ⅳ (2)	◎生物化学Ⅱ (2)
		◎無機化学Ⅰ (2)	◎生体分子機能・反応学 (2)
		◎無機化学Ⅱ (2)	◎分析化学Ⅰ(1)(2) (各1)
		◎無機化学Ⅲ (2)	◎分析化学Ⅱ (2)
		◎有機化学Ⅰ (2)	◎分子分光法 (2)
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎基本化学実験Ⅰ (2)	◎基本化学実験Ⅲ (2)
		◎基本化学実験Ⅱ (2)	◎基本化学実験Ⅳ (2)
	専門化学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ(各2)		
生物学	◎生物学概論A (2)		
	◎生物学概論B (2)		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎生物学基礎実験 (2) (生物学科科目)		
地学	◎地球環境科学 (2)		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎地学基礎実験 (2) (物理学科科目)		

◎は本学の教職必修科目

・実験の履修方法

- 【中学校】 物理学、化学、生物学、地学の全ての実験を履修すること。
- 【高等学校】 化学実験を履修すること。



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 理学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

生物学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位			
免許教科	教科に関する専門的事項			
理科 (必修二〇単位以上・大学が独自に設置する科目中学四・高校十二単位以上)	物理学	◎物理学概論A (2) ◎物理学概論B (2)	物理学科科目	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎物理学基礎実験 (2)	(物理学科科目)	
	化学	◎化学概論A (2) ◎化学概論B (2)		
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎化学基礎実験 (2)	(化学科科目)	
	生物学	◎生化学 (2)	◎発生生物学 (2)	
		◎生物物理学 (2)	◎進化生物学 (2)	
		◎動物系統学 (2)	◎代謝生物学 (2)	
		◎植物系統学 (2)	◎分子遺伝学 (2)	
		◎植物生理学 (2)	◎生物統計学 (2)	
		◎基礎遺伝学 (2)	◎生物学演習 I (2)	
◎細胞生物学 (2)		◎生物学演習 II (2)		
◎動物生理学 (2)				
分子細胞情報学 (2)		分子構造生物学(1)(2) (各1)		
進化遺伝学 (2)		動物環境応答学(1)(2) (各1)		
発生遺伝学(1)(2) (各1)	生物系統地理学 (2)			
植物生理工学(1)(2) (各1)	遺伝子工学(1)(2) (各1)			
◎生物学実習 I (2)	◎生物学実習 II (2)			
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	植物系統学実習 (1)	発生生物学実習 (1)		
	基礎遺伝学実習 (1)	動物系統学臨海実習 (1)		
	分子遺伝学実習 (1)	発生生物学臨海実習 (1)		
	細胞生物学実習 (1)	植物系統学臨海実習 (1)		
	植物生理学実習 (1)	生命情報プログラミング演習 (1)		
	代謝生物学実習 (1)	分析・光学機器実習 (1)		
地学	◎地史・古生物学概論 (2)			
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	◎地学基礎実験 (2)	(物理学科科目)		

◎は本学の教職必修科目

・実験の履修方法

【中学校】 物理学、化学、生物学、地学の全ての実験を履修すること。

【高等学校】 生物学実験を履修すること。

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 理学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 数学

情報科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する専門的事項		
数学 (必修二〇単位以上・大学が独自に設置する科目中学四・高校十二単位以上)	代数学	◎数理基礎論 (2)	
		◎離散数学 (2)	
		位相空間論 (2)	
		グラフ理論 (2)	
	幾何学	◎線形代数学 1 (2)	
		◎線形代数学 2 (2)	
		◎線形代数学 3 (2)	
解析学	◎微分積分学 1 (2)		
	◎微分積分学 2 (2)		
	◎微分積分学 3 (2)		
	◎微分積分学 4 (2)		
情報解析学 (2)			
「確率論、統計学」	◎確率序論 (2)		
コンピュータ	◎計算基礎論 (2)		
	コンピュータシステム序論 (2)		
	計算機代数演習 (2)		

◎は本学の教職必修科目



(4) 教科に関する専門的事項

◎ 理 学 部

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 情報

情報科学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	備考	
免許教科 教科に関する専門的事項			
情報社会・情報倫理	◎情報倫理 (2)		
情報 (必修一〇単位以上・大学が独自に設置する科目十二単位以上)	◎データ構造とアルゴリズム (2)		
	◎マルチメディアプログラミング実習 (2)		
	◎環境情報論 (2)		
	-----		
	コンピュータアーキテクチャⅠ (2)		
	コンピュータアーキテクチャⅡ (2)		
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	コンパイラ構成論 (2)	
	プログラミング実習 (2)		
	言語理論とオートマトン (2)		
	人工知能論 (2)		
数値計算 (2)			
数値計算演習 (2)			
関数型言語 (2)			
コンピュータ基礎演習 (2)			
情報システム (実習を含む。)	◎ソフトウェア工学 (2)		
-----	データベース設計論 (2)		
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	◎コンピュータネットワークⅠ (2)		
-----	◎システムプログラミング実習 (2)		
マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	◎マルチメディア (2)		
-----	◎コンピュータグラフィックス (2)		
-----	コンピュータビジョン (2)		
情報と職業	◎情報と職業 (2)		

◎は本学の教職必修科目

(4) 教科に関する専門的事項

◎ 生活科学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 家庭

人間生活学科

科目区分	本学認定授業科目及び単位	備考	
免許教科 教科に関する専門的事項			
家庭 (必修一〇単位以上・大学が独自に設置する科目中学四・高校十二単位以上)	◎家族関係論 (2)	◎家政経済学概論 (2)	
	生活経営学 (2)	労働経済学総論 (2)	
	消費者経済学 (2)	生活法学 (2)	
	家族社会学(1)(2) (各1)	生活政治学(1)(2) (各1)	
	家族法 (2)	消費者科学入門 (2)	
	消費者教育論 (2)	消費者法 (2)	
	◎被服学概論 (2)	-----	
	服飾制作実習 (1)	被服製作実習 (1)	いずれか1科目以上選択
	被服学 (被服製作実習を含む。)	服飾史Ⅰ(1)(2) (各1)	服飾文化論基礎演習 (2)
	-----	服飾史論(1)(2) (各1)	服飾文化論演習 (2)
-----	服飾史Ⅱ(1)(2) (各1)	服飾文化実習 (1)	
-----	服飾史資料論(1)(2) (各1)	日本服飾史基礎演習 (2)	
-----	-----	日本服飾史演習 (2)	
食物学 (栄養学、食品学及び 調理実習を含む。)	◎食物学概論 (2)	学部共通科目 教職共通科目 学部共通科目	
-----	◎調理実習 (1)		
-----	国際栄養学 (2)		
(中) 住居学 (高) 住居学 (製図を含む。)	◎住居学概論 (2)	◎建築環境計画論 (2)	人間・環境科学科 科目
-----	建築環境工学 (2)	機器分析演習(1)(2) (各1)	
-----	環境衛生学(1)(2) (各1)	環境材料物性(1)(2) (各1)	
(中) 保育学 (実習を含む。) (高) 保育学 (実習及び家庭看護を含む。)	◎児童学概論 (2)	◎保育実践論 (2)	
-----	◎家庭看護学 (1)		
-----	児童文化論 (2)		
(高) 家庭電気・家庭機械 及び情報処理	◎家庭機械及び家庭電気 (2)	教職共通科目	
-----	応用生活統計学(1)(2) (各1)		
-----	社会統計学Ⅰ (2)		
-----	社会統計学Ⅱ(1)(2) (各1)		
-----	-----	いずれか1科目以上選択	

◎は本学の教職必修科目



## 5. 栄養教諭一種免許状

生活科学部食物栄養学科に所属する学生は、栄養教諭一種免許状を取得することができます。  
 本学では、教育の基礎的理解に関する科目等については26単位、栄養に係る教育に関する科目については4単位全てを修得する必要があります。

### 教育の基礎的理解に関する科目等

科目区分	左記各科目に含めることが必要な事項	認定科目・単位		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論 (思想・歴史) (1/2)	各 1	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論 (中等) (1/2)	各 1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育原論 (社会・制度) (1/2)	各 1	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理論と方法	1	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育の理論と方法 (中等)	2	
		総合的な学習の時間の理論と方法 (中等)	1	
	特別活動の理論と方法 (中等)	2		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導の理論と方法 (中等)	2	
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	学校カウンセリング (中等)	2		
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2単位	栄養教育実習	2
	教職実践演習	2単位	教職実践演習 (中等)	2
合計		26単位		

### 栄養に係る教育に関する科目

各科目に含める必要事項	認定科目・単位		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項</li> <li>・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項</li> <li>・食生活に関する歴史的及び文化的事項</li> </ul>	2単位	○学校栄養教育論 I	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の方法に関する事項</li> </ul>	2単位	○学校栄養教育論 II	2

## III. 介護等体験

平成10年4月より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」が施行されました。これは、「教員が個人の尊厳および社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性と教員の資質向上および学校教育の一層の充実を図る」観点から設けられた、とされています。

これにより、小学校および中学校の教員免許状取得には、関係法令等で指定された特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、計7日間の介護等体験が義務付けられました。(幼稚園、高等学校、または栄養教諭の教員免許状のみ取得希望者は、対象外です。)

文部科学省によると、介護等体験の内容は、「障害者、高齢者等に対する介護、介助のほか障害者等の話相手、散歩の付添いなどの交流等の体験、あるいは掃除や洗濯といった、障害者等と直接接するわけではないが、受入施設の職員に必要とされる業務の補助など、介護等体験を行う者の知識・技能の程度、受入施設の種類の業務の内容、業務の状況等に応じ、幅広い体験が想定される」となっています。

本学では、3年次に介護等体験を行います。が、学業への影響・派遣学生の経済的負担を考慮して、都内の特別支援学校および東京都内・関東近県の社会福祉施設へ派遣しています。

介護等体験実施にあたっては、主に下記の費用がかかります。全て**学生個人の負担**となりますので、ご注意ください。

- 学生賠償責任保険への加入手続費用
- 麻疹・風疹の抗体検査・予防接種費用
- 社会福祉施設での介護等体験費用  
 (体験先の都道府県により金額が異なりますが、¥7,500～¥10,285とお考えください)
- 介護等体験中の昼食費・交通費・施設入場料等



#### IV. 教員免許状の授与

教員免許状は、取得要件を満たした学生が、居住する都道府県の教育委員会に申請することで授与されます。

しかし、本学の所在する東京都では、免許状を申請する学生数が特段に多いので、所属する大学で申請希望者をまとめて教育委員会に申請する、大学一括申請を行っております。

教職課程履修学生は、4年次4月に卒業単位確認とともに、免許状の単位の修得漏れが無いようによく確認しておいてください。

##### 1. 大学一括申請

4年次7月ごろに1回目の手続きを行います。この時に、免許状に表記する氏名の漢字、本籍地を確認するため、また法規上の欠格条項に該当しないことを確認するために、本籍地が所在する役所の住民課等で発行する身分証明書（学生証・運転免許証等とは違うものです。）が必要です。時期になりましたら、掲示でご案内します。

次に12月ごろに、2回目の申請手続きを行います。この時は、宣誓書に署名・捺印するので、印鑑が必要となります。（シャチハタ等の簡易印は使用できません。）また、申請手数料も徴収します。（免許状申請件数に応じて¥3,300～¥9,900程度。今後変更の可能性あり。）

以上2回の手続きを漏れなく行くと、卒業式当日に教員免許状をお渡しできます。

なお、手続き方法や申請手数料等は、東京都教育委員会の方針変更で改定になる可能性があります。学内掲示で連絡しますので、ご注意ください。

##### 2. 個人申請

4年次に一括申請の手続きを行わなかった方は、卒業後に個人で教育委員会に申請することになります。卒業時に必要な単位を漏れなく修得していれば、卒業後いつでも申請できます。しかし、申請から授与までは1ヶ月以上かかることが多く、特に2月～3月は、申請が集中する時期ですので、4月からの採用に支障が生じることもあります。ですから、教職課程履修学生は、なるべく在学中に一括申請で免許状を取得するようにしてください。

なお、個人申請の場合には、居住する都道府県の教育委員会に申請することになりますが、都道府県ごとに手続きの仕方が異なりますので、担当部局に問い合わせ確認してください。

また、教員免許状は一度授与されると二度と発行されません。一括申請でも個人申請でも同じです。あやまって紛失することの無いように厳重に保管してください。特に転居時に紛失する例が多いようです。

#### V. 教職課程履修スケジュール

下の表は、4年間のおおまかなスケジュールです。この表は予定ですので、法規改正や学内の都合等で変更になる可能性があります。

なお、教職課程に関する連絡は、全て屋外掲示板及び学生ポータルサイトに掲示します。学生センター棟の前の屋外掲示板には教職課程の連絡コーナーがあります。教職課程に関する連絡は、全てここに掲示します。必ず定期的に掲示を確認し、手続き等に漏れが無いようにご注意ください。

学年	時期	事項	
1年次	4月	● 新入生オリエンテーション ● (教職に関する科目を履修)	
	6月	● 教育実習申込	
2年次	10月	● 教職課程説明会 ▲ 介護等体験説明会	
	2月	▲ 介護等体験事前指導 ▲ 介護等体験申込手続	
		4月	▲■ 健康診断受診 ■ 第1回 教育実習大学側事前指導 (教育実習配属先決定)
3年次	6月～	▲ 介護等体験実施 (特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間)	
	9月	■ 出身学校教育実習内諾締切	
	10月	■ 第2回 教育実習大学側事前指導 (中・高) (幼・小・栄)	
	11月	■ 附属学校教育実習履修届提出	
	1月	■ 附属幼稚園教育実習事前指導	
	2月	■ 附属小学校教育実習事前指導 ▲ 介護等体験事後指導	
		4月	■ 第3回 教育実習大学側事前指導 (中・高) ■ 健康診断受診
	4年次	5月	■ 第3回 教育実習大学側事前指導 (幼・小・栄)
		5月～	■ (中・高) 教育実習事前指導
		6月	■ 附属小学校教育実習 (4週間) および事後指導 ■ 附属中I期教育実習 (3週間) および事後指導 ■ 附属幼稚園I期教育実習 (2週間) および事後指導
7月			■ 附属高I期教育実習 (2または3週間) および事後指導 ★ 教員免許状一括申請申込
			9月
10月		■ 教育実習報告指導会 (全体事後指導)	
後期		■ 教職実践演習履修	
12月		★ 教員免許状一括申請手続	
3月		★ 卒業式当日に教員免許状配付	

《凡例》 ●: 教職課程全般に関すること  
▲: 介護等体験に関すること  
■: 教育実習に関すること  
★: 教員免許状一括申請に関すること







